

現地スタッフレポート

「中国と日本の漢字について」

日本と中国はどちらも漢字を使う国のため、それにより両国の交流は大きなものとなってきました。多くの漢字が日本語と共通しており(例えば、「心」、「四季」、「大学」、「高速道路」、「散歩」、「健康」など)、お互い言葉が出来なくても筆談により、ある程度意思疎通が可能です。

日本を訪れる中国人にとって、日本語の熟語は中国で使用されているものと多少異なっても漢字から意味が分かるものも多く、たとえ日本語が全く分からなくとも、漢字の説明があれば理解し行動できます。例えば、「電車(中国語:火車)」や「地下鉄(中国語:地鉄)」と表示があれば自分で交通機関を利用できますし、「肉」「魚」「茶」「中華」「野菜の炒め物」でも食事の注文ができます。また、病気の場合も「病院」や「薬局」でなんとか対処することができます。

しかし、日本語の漢字は千年も前に中国から伝わったため、同じ漢字であっても全く意味の異なるものも沢山あります。例えば、中国語の「湯」は「スープ」の意味ですので、日本の温泉で「女湯」「男湯」の案内と見ると、スープに男女の区別があるのかと不思議に思いますし、「銭湯」も「お金のスープ」?と想像してしまうでしょう。また「娘」は母親の意味なので、「16歳の娘がいます」と自己紹介されるとびっくり仰天するでしょう。さらに、別れの場面で「手紙を送ります」と言われると、なぜ「トイレトペーパー」を送るのだらうと頭の中は?マークでいっぱいになります(「手紙」は中国語で「トイレトペーパー」の意)。

一方、中国を訪れる日本人にとっても、中国語ができない場合、筆談で誤解を招くような漢字があります。「先生」の使い方についての相違はよく知られていますが、配偶者を「愛人」と紹介されてもびっくりしないように。日本でいう「愛人」とは異なり、「正式な奥さん」のことを指します。また奥さんの紹介で、中国人が「愛人料理家務」と書いても、奥さんが料理と家事をしますということではなく、単に「家事をする」という意味になります。「料理」はご飯を作るという意味ではなく「処理する」という意味ですので、「料理後事」という「死後の始末をする」ことを言います。そのほか「熱嗎?(熱いですか?)」と聞かれるのは、病気の熱を意味するのではなく「暑いですか?」ということですし、「行」というのは承諾の意味(日本語で「行く」というのは「去」)です。さらに「去看病」は誰かを看病するという意味ではなく、医者に診察してもらうことですし、「結束」は結ぶことではなく終了という意味だったりします。中国では「姉」「咲」「淵」「峠」「込」のような漢字はありませんので、筆談でも通じませんのでご注意ください。



このように、お互い理解しているようでも、思わぬ誤解や失敗につながることもあります。そうそう、誤解という言葉も中国語では「誤会」でした。皆さん、もう一步踏み込んで言葉の勉強をすると面白いと思いますよ。

(大連駐在員事務所 杜 蘭珍)

Q これは何のお店でしょう?

(答:エンジンオイルとバッテリー)